

しか
Shika Town

ノトキリシマツツジ

6
2012
No. 82



INDEX

白山市と災害時等相互応援協定を締結	2～3
まちかど News	6～7
虫歯のない子	8
情報パーク	10～11
健康カレンダー・なかのとっぴ	16～17
しかチャンネル番組ガイド	19

白山市と

災害時の応援協定を締結

5月15日（火）に白山市と「災害時等の相互応援に関する協定」を結びました。大規模な風水害、地震などの自然災害や、原発事故が発生した場合に、救助、救援、復旧など、避難所の提供や食料、資機材の提供、職員の派遣など、それぞれの要請に応じて、速やかに応援を行います。

静岡県の御前崎市と今年2月27日に同様の協定を結びましたが、石川

県内の自治体と提携したのは初めてです。

静岡県の御前崎市と今年2月27日に同様の協定を結びましたが、石川

が、白山市からは作野広昭市長と本屋弥寿夫副議長などが出席し、小泉町長と作野市長が互いに協定書に調印しました。

小泉町長は「志賀町から30km以上離れた白山市に避難先があることは志賀町にとって心強い。白山市に感謝します」と話しました。

— 白山市 —

755km²と石川県内自治体の中で最大の面積で、人口は金沢市に次いで2番目に多く、日本三名山の白山、一級河川の手取川、日本海の豊かな自然に恵まれています。

白山市内には「森本・富樫断層帯」が走り、今後30年間にマグニチュード7.2クラスの地震の発生する確率が0～6パーセントとされています。また、白山は国内110の活火山のひとつです。志賀町と白山市の距離は約60km。



▲調印式に出席した関係者



志賀町・白山 災害時等の相互応援に関する



▲白山市役所内の会場で調印した協定書を互いに取り交わした小泉町長（左）と作野広昭市長（右）



▲調印式終了後は、避難所となる松任総合運動公園体育館を視察

相互応援協定の内容

- ・食料、飲料水および生活必需品などの物資や資機材の提供
- ・救出、医療、防疫、施設などの応急復旧に必要な物資や資機材の提供
- ・救援、救助活動
- ・被災者を一時受け入れるための施設の提供やあっせん
- ・被災児童、生徒などの一時受け入れ
- ・医療施設、介護施設などの入所者の一時受け入れ
- ・救援、救助、応急復旧などに必要な職員の派遣 など

春の叙勲

平成 24 年春の叙勲・褒章が発表され、消防分野で、その進展に長年尽くしてきた 寶達清一さんが受章しました。



瑞宝単光章

ほうだつ せいいち
寶達 清一 さん (70 歳)
—高浜町—

昭和 40 年 7 月に高浜町消防団第 1 分団に入団以来、38 年 9 カ月間にわたり、志賀町の防災に尽力してきた寶達さん。
「今でもサイレンが鳴ると、体が反応する」と話し、当時は、自家用車や仕事場にも無線機を設置し、出動に備えていました。「出動要請がかかると、昔はどんなときでも仕事をほったらかして現場に駆けつけた。消防に対する思いは誰にも負けていない」と妻の孝子さんは話します。
火災発生時の現場活動や

防火意識の普及活動においては常に先頭に立ち、団員の見本となる行動を行っていました。ポンプ車操法では訓練指導に力を入れ、石川県消防操法大会に出場し、優勝など何度も上位入賞し、志賀町消防団の伝統を築き発展の礎となりました。
今回の受章について「章の重さをひしひしと感じています。当時、消防に携わってくれた人、団員、周りの人、そして家族が協力してくれただけです。感謝しています」と喜びました。

人権擁護委員感謝状伝達式

4 月 20 日（金）に法務大臣から人権擁護委員を退任された委員への感謝状の伝達式が行われました。

退任される盛本浩吉さん（代田）は、平成 11 年から 4 期 12 年 7 カ月間にわたり、委員として地域の活動に貢献され、その功績により法務大臣から感謝状が贈呈されました。

小泉町長は、「盛本さんには、地域住民のために献身的な活動に対し心から感謝し、今後も培われた経験と知識をいかして、ご活躍いただきたい」とあいさつしました。



▲左から七尾人権擁護委員協議会羽咋北部会長の能登正人さん、小泉町長、盛本浩吉さん、金沢地方務局七尾支局の早川支局長



石川行政評価事務所長感謝状

5 月 17 日（木）に行われた行政相談委員全体会議で、行政相談委員の前田政雄さん（上野）に、総務省石川行政評価事務所長から感謝状が贈呈されました。

前田さんは、行政相談委員として、国や特殊法人などの仕事に対する苦情や意見について、住民の皆さんから相談を受け、関係行政機関などと協力してその解決を図ったり、行政に反映させて、よりよい行政運営の実現のために活躍しています。

